

# 国語

## 小学4年

### この本の使い方と特色

この本は、小学校三年生までに学んだことがらから、四年生で習うことがらへの橋わたしになることからを、短い期間でむりなく、そぞう的に学習できるように作られたものです。

- **全体の構成** 物語・説明文・詩のそれぞれの読解問題と、漢字・ことばの問題の四つの部分に分かれています。
- **単元の構成** 一つの単元は、見開き完結。読解問題は、詩をのぞいて、一単元で一素材を学習するようになっています。漢字・ことばの単元では、漢字の使い分けや、かなづかい、反対語の問題などを出題しています。

### 目次

1 物語(1) .....	2	7 説明文(3) .....	14
2 物語(2) .....	4	8 詩(1) .....	16
3 物語(3) .....	6	9 詩(2) .....	18
4 物語(4) .....	8	10 漢字 .....	20
5 説明文(1) .....	10	11 ことば .....	22
6 説明文(2) .....	12		

- 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

## 物語(1)

学習用

/

15

10

5

〈緒島英二「海の光」より〉

(1) 本文中の【】の部分について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

□① この部分からわかる、お父さん・お母さんの様子として、ふさわしいものを次から一つえらび、記号で答えなさい。

ア 赤ちゃんのことをいろいろ聞いてくる「ぼく」がうるさくて、落ち着かない様子。

イ ゼンゼンお兄ちゃんらしくならない「ぼく」にはらを立て、いじわるをしている様子。

ウ 赤ちゃんが生まれることに気をとられ、ゆっくりと「ぼく」の相手をしてやれない様子。

エ 小学生になつても、赤ちゃんのようになまえてくる「ぼく」にあきれ、こまつっている様子。

□② この部分からわかる「ぼく」の気持ちとしてふさわしいものを次から二つえらび、記号で答えなさい。

ア ふまん イ あせり

ウ きんちょう エ おそろしき



□(2) — 線①「おじいちゃんはうそつきだ」とあります。おじいちゃんの言つたどういうことが、うそなのですか。「うそ」ということ。」という形で、書いて答えなさい。

□(3) \*に入るふさわしいことばを次から一つえらび、記号で答えなさい。

ア うれしそうな顔 ウ どくいそくな顔  
イ さびしそうな顔 エ くやしそうな顔

□(4) — 線②「お前の気持ち」とは、「ぼく」のどんな気持ちを指していますか。次からふさわしいものを一つえらび、記号で答えなさい。

イ 赤ちゃんがなかなか生まれてこないので、いらっしゃる気持ち。

ア 赤ちゃんが生まれて、自分がお兄ちゃんになるのを楽しみにしている気持ち。

ウ 赤ちゃんのことなどわすれてしまふほど、海での遊びにむちゅうになつてている気持ち。

エ 赤ちゃんが生まれたら、自分はかまつてもらえないなるのではないかと心配している気持ち。



- 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

## 物語(2)



15

10

5

35

30

25

20

〈安房直子「ねずみの作った朝」はんより〉

□(3) — 線②「ねずみは、ゆっくりいすから下りて、こんなことを言いました」とあります、「こんなこと」を言つたことから、ねずみの何がわかりますか。次からふさわしいものを一つえらび、記号で答えなさい。

□(1) ねずみが虫歯になつたのはなぜですか。「ねずみが、から。」という形で、書いて答えなさい。

ねずみが、  
から。

□(2) — 線①「小さなねずみの目に、なみだがもり上がりつきました」とあります。ねずみがなきだした理由として、ふさわしいものを次から一つえらび、記号で答えなさい。

ア ふつうにしていられないぐらいに、虫歯がいたくなつてたから。

イ おまんじゅうを食べたことを歯医者さんにしかられたのがくやしかったから。

ウ これから虫歯をガーガーげずられると思うと、こわかつたから。

エ もしも歯がだめになつたら、家族がくらしていけなくなるから。

□(4) — 線③「おにわに出しておいてください」とありますが、庭に出しておくものとは何ですか。本文中から九字で書きぬいて答えなさい。

□(5) 本文中の【】の部分からわかるねずみの気持ちとして、ふさわしいものを次から一つえらび、記号で答えなさい。

ア 歯医者さんをうらむ気持ち。

イ 歯医者さんにかんしゃする気持ち。

ウ 歯医者さんをだまそうとする気持ち。

エ 歯医者さんをこわがる気持ち。

□(6) 本文中から、歯医者さんはどんな人だとわかりますか。次からふさわしいものを一つえらび、記号で答えなさい。

ア 親切な人。

イ らんぼうな人。

ウ いじわるな人。

エ 頭がいい人。

- 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

## 物語(3)

学習用

/



〈富川ひろ「五十本の手」より〉

(1) — 線① 「がまんしましようね」とあります。が、きむら先生は、きみこちゃんに、どうすることを「がまんしましようね」と言っていますか。「～と。」という形で書いて答えなさい。

35 30 25 20

□(2)

——【】の言葉からわかるきむら先生の気持ちとしてふさわしいものを次から一つえらび、記号で答えなさい。

ア きみこちゃんのあまえんぼうなど二つをかわいらしく

思っている気持ち。

イ よくぱりでするがし——きみこちゃんをこらしめようとしている気持ち。

ウ 何かとあまえてくるきみこちゃんのこととうるやがつてている気持ち。

エ クラスの中で、きみこちゃんだけにあまえさせるのはよくないと思っている気持ち。

□(3)

——線②「きみこちゃんの絵は、なんの絵かな?」とあります。が、きみこちゃんが描いた絵は、なんの絵でしたか。「絵。」



絵。

□(4)

——線③「先生は、ちょっとかわいそうになりました」とあります。が、きむら先生がきみこちゃんをかわいそうに思った理

こと。

い。

ア きみこちゃんのかいた絵が何をかいた絵なのか、わかつてやれなかつたから。

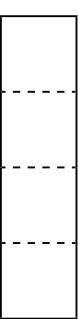
イ どんなにがんばって絵をかいても、きみこちゃんはじょうずに絵がかけないから。

ウ せつかく手間ひまをかけてかいたのに、きみこちゃんの絵がよごれてしまつたから。

エ きみこちゃんのあまえたい気持ちが、一生けんめいにかいた絵から強くつたわってきたから。

□(5)

——線④「その日」のことはどこから書かれていますか。本文中から、そのさいしょの一文のはじめの四字を書きぬいて答えなさい。



□(6)

——線⑥本文中から、きむら先生はどんな先生であることがわかりますか。次からふさわしいものを一つえらび、記号で答えなさい。

ア 子どものたのみをことわれない、あまい先生。

イ とつさのちえがはたらく、頭がよい先生。

ウ 分けへだてしないで、みんなにやさしい先生。

エ 口うるやく注意する、きびしい先生。

